

ア



インドネシアからアングルンの専門家スレ先生が来日され、6月13日にインドネシア共和国総領事公邸にてワークショップや講義が行われました。プレゼントガーデンも招待を受け、高野喜恵が参加しました。メンテナンスや調律の仕方など多くのことを勉強させていただきました。

総領事夫妻をはじめ、たくさんのインドネシア文化関係の方々とお会いすることができ貴重な時間となりました。それに続き、16日にはスレ先生がプレゼントガーデンにお越し下さいました。

なんと、サプライズで総領事も来られて皆びっくり！！

アングルン・オーケストラの演奏を聴いて、感動のお言葉をいただくことができ、素晴らしい時間となりました。

スレ先生が発明したという新しい形のアングルンにも驚かされました。目の前で調律をして下さったり虫退治の方法も教えていただきました。

このような機会を作ってくださったKISの森井さん、領事館秘書官のウィナルディさんに深く感謝です。緊張しっぱなしの時間でしたが、それはスタッフだけだったのでしょか。メンバーは堂々たるものでした。すごい！



Photos



H.27.3月～H.27.7月 活動記録より



高橋さん歓迎



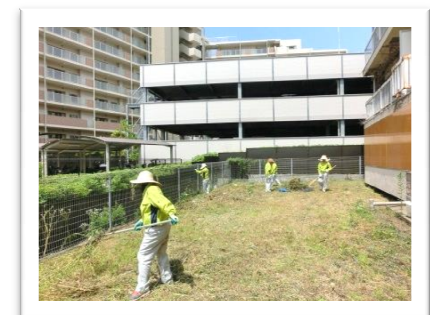
インドネシアからのお客様をお迎えして



いちご狩り



あいな苎掘り



役務 in 大久保



お花見 in 王子公園



◆発行：認定 NPO 法人 Present Garden to  
〒655-0043 神戸市垂水区南多聞台 1-5-11  
TEL：078-785-1516 FAX：078-785-1539  
E-mail：present-g@hi-net.zaq.ne.jp  
HP：http://www.present-g.com  
◆代表者：理事長 高野 喜恵

認定 NPO 法人

理事長 高野喜恵



平成 27 年 7 月 29 日に神戸市で行われた認証式でプレゼント・ガーデンが正式に「認定 NPO 法人」に認証されました。

数か月をかけての多くの申請書や実地調査を通して、PGの設立の経緯と活動内容を振り返りました。ほんとうに何も無いところからのスタートでした。



- ◆開所より 3 年程は、
- ◆「園芸療法」という名前を付けても良いのだろうか
- ◆その効果がほんとうに見込まれるのか
- ◆メンバー、ご家族との信頼関係が形造られるのか
- ◆スタッフ、ボランティア、そして支援して下さいている方々に納得していただけたのかと悩む日々が続きました。

18 年を経て、振り返ってみると全く道の無かった所に細い道が出来、今やその一つひとつは大きな活動となっていることに驚きます。うつから立ち直った小さな私の心に与えられた「園芸と音楽とカウンセリング」が少しずつ形となり、その時々多くの不思議な出会いと助け、全国から寄せられる支援とがあつてこそ今があります。

そして今、認定 NPO 法人 Present Garden to の大きなまとまった働きとして社会に認められ信頼していただいていると言ってもいいでしょうか。

忘れてはならないのは PG のビジョンを支える基盤、運営（経理、総務、労務、税務などなど）がしっかり行われていなければなりません。このことの裏には毎日の途方もない量の仕事が懸命になさなければこそなのです。

まだ小さな土地・建物でメンバーにも不自由をかけており、その拡大のきっかけが与えられることを待ち続けています。

そしてメンバーの将来のための居場所、まだまだ進む道は険しく遠いものであるかもしれません。多くの方々に感謝しつつ、この活動を携えて未来へみんなで手をつなぎ支え合って困難を乗り越えつつ歩み続けましょう。

心にひらめいた、与えられた夢を貫くこと、そしてその中で限界を知ること、希望を持ち続けること、日々祈り願うこと、そして学び続けることを教えられた 20 年だったように思います。





## Present Garden to

- 1996年 園芸療法を始める準備と趣意書を提出する
- 1997年 園芸療法としての小規模作業所開設  
神戸市より補助金をいただく  
しあわせの村「こうべ健康・福祉フェア」にて園芸療法実践報告
- 2001年 藍那里山活動との出会い
- 2002年 アンクルン・オーケストラ創立
- 2003年 第1回アンクルン演奏会
- 2004年 あいなパイロット事業に選抜
- 2007年 NPO 法人格取得  
第2回アンクルン演奏会（十周年記念）
- 2009年 指定障害福祉サービス事業所 就労継続支援B型へ移行
- 2013年 第3回アンクルン演奏会（インドネシア領事館共催）
- 2015年 認定 NPO 法人認証



## Swimming

コーチ 齋藤 宏多郎

スイミングプログラムを担当してます齋藤です。私がスイミングを指導させて頂く様になってかれこれ10年程経ちますでしょうか。

当初は5・6名程だったメンバーも今では倍の10名になり個性も2倍・明るさも2倍・怒る回数も2倍いや4倍になりました。水泳プログラムでは技術や体力の向上と協調性を養えたらいいかなと考えています。月に一度では技術の進歩は難しいかなと思っていましたが継続は力なりですね、結果として皆少しずつでも確実に進歩しています。継続してやり続ければ上達するって事またそれを自信にして達成感を感じて欲しいと思います。

その反面、月に一度のプログラムですから皆で大いに笑い水を掛け合い楽しく弾けて。そして、水の中でゆっくりリラックス・リフレッシュして欲しいと思います。

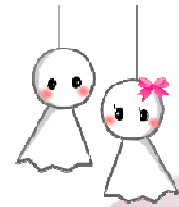
レッスンが終わるとメンバーからは『今日は楽しかった』とか『しんどかった』とか色々な意見もあり時には『今日もしばいてくれてありがとう』との声に他の人が聞いたらとヒヤッとする意見も。時々『言葉使いが悪いとか調子に乗りすぎ』と逆に叱られる場面も。

皆で和気藹々とコントしながら楽しく・厳しくレッスン出来ればいいかなと思ってます。

天使の様な鬼の織田コーチと鬼の様な天使の齋藤とでメンバー共に成長していき月一回のレッスンを楽しみたいと思います。よろしくお願いたします。



## From PG member to



### 私の涙

バスに乗ろうと思って、傘をさして段を降りたらバスのドアが閉まって行ってしまいました。悲しかったけど、その時は泣きませんでした。次のバスをずうっと待ちました。PGに来て高野さんに、「あのバス大嫌い」と言ったら涙がポロポロ出ました。キャラバンの運転席に乗って、鏡でバスに乗る人が見えるかどうかやってみました。それでわかりました。

足立 友紀



友紀さんがオイオイ泣きながら「あのバス大嫌い」・・・？ど、どうした？？？  
根掘り葉掘り聞くと、雨が降っている中、駅でバスに乗ろうと思って傘をさしてバス停の段差を降りバスに近づこうとした時、バスが発進してしまった。

なるほど・・・！！そこでPGの10人乗りの車キャラバンの運転席に友紀さんに乗ってもらい、左のサイドミラーを見てもらいました。私が車両左側の乗車口に立って「友紀さん私が見える？」「見えない」私が少しずつ動いて「ここは見える？」「見えない」・・・「見える？」「見えたー！！」

サイドミラーでは車から30cm以上離れていたら見えないのです。友紀さんが傘をさしてかなりゆっくりと段を降りてバスに近づこうとした時、運転手さんはもう次に乗る人は「いない」とサイドミラーで確認してしまったのでしょう。

次に友紀さんに乗車口に立ってもらい私がサイドミラーを見ながら「見えたよー！」バスと自分との距離を確認してもらってやっと納得。それにしてもなんて悲しくて悔しかったことでしょう。

駅からPG最寄りのバス停に着くバスは30分に1台しかないのです。

解説 高野 喜恵



## ご寄附について

We appreciate your support!

4月に発行したガーデンレター「みんなの手」では”認定NPO法人を目指して”という記事を書かせていただき、今号では”なりました！”のご報告となりました。予想以上にスムーズにそしてスピーディーに認定されることとなり喜んでおります。前号をお読みいただいて、より多くの皆様からのご寄付をいただいたこと深く感謝いたします。認定NPO法人への寄付は所得税・住民税の控除、相続税の非課税といった各種税制優遇措置を受けることができます。今後いただいたご寄付は、皆様が納められる税金の減額（寄附金控除）の対象となります。詳しくは当法人までご連絡いただくか、各市町村にお問合わせください。認定は5年後に再審査があります。何卒継続してのご支援を下さいますよう深くお願い申し上げます。

事務長 高野 捧